

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	1、教育(教室不足)環境の改善 2、衛生(トイレ不足)環境の改善 3、地域の待機児童生徒の救済 4、児童達の教育環境(3年生から6年生の2部制)の改善 5、建物維持管理のための地域コミュニティの組織化 地域コミュニティが組織化されたため役員が、毎日学校に様子を見に来ている。
(2) 事業内容	小学校の増築計画は、8月24日から基礎工事作業に着手し、現地の建設会社の従業員に加え愛知県名古屋市内の南山大学、愛知淑徳大学、相山女学園大学など50名以上の大学生と随行員のボランティア応援があり、事業地の地域住民との交流しながらワークショップも開催し、ワークショップは現在も開催している。9月中旬以降は現地の建設会社が建設作業を進めている。作業工程は鉄筋を組み、型枠作業をした後にコンクリートを流し込む作業を繰り返し、10月中旬には鉄筋の屋根工事が進み、現在、教室内や通路は、壁のブロックにセメントを塗る作業と屋根工事をしている。また、平行して水道工事、電気の配線工事を進めている。
(3) 達成された効果	PTAや地域の人々を対象にワークショップを重ねながら日本からの学生達が自分たちの子どものために汗を流しているのを見て、自分達でもブロックを運ぶ、セメントを練って運ぶことはできることを気付いていただきました。市から予算をもらい、不足金は自分たちで集めて、労力はボランティアで活動することで今後、不足が生じる教室については、地域の関係住民でお金と労力を出し合って学校建設することになりました。現在、小学校の増築校舎の完成を地域住民と裨益者数730名が完成を待ち望んでいる。
(4) 今後の見通し	11月、12月は屋根工事の仕上げ、室内工事、室内及び屋外の塗装工事に入り、1月中旬までには、予定通り完成予定。